

タスク2 ニーズ調査

これだけ学習者のバリエーションがあるということは、学習ニーズにもたくさんのバリエーションがあるということになります。学習者の目的にあった授業計画を作るためには、どのようなニーズ調査をすればいいでしょうか。あなたの知っている外国人、実際に教えている学習者を思い浮かべてください。その人に日本語を教えようとするとき、どんなことを知る必要があるでしょうか。以下のヒントをもとに考えて見ましょう。

ニーズ調査表 (NEEDS ANALYSIS)

氏名 () 国籍 ()

ヒントとアイデア

※学習者の背景 (フェイスシート)・学習歴や学習環境・学習目的・将来計画・既習日本語能力などに分けて細項目を考えてみましょう。

※ 「Cando シート」を使うと、既習日本語能力および学習目的を具体的に明らかにしやすいです。その学習者にあつた Cando シートを考えて見ましょう。

Cando シートとは? 「簡単なあいさつをする」「職を聴く」「レストランで注文する」といった言語運用を日本語でできるかどうかによって能力を測るツール。勉強したい機能をたずねてニーズ調査にも使うことができる。

より深く学びたい人のために♪

* 日本語教育学会編 (1991) 『日本語教育機関におけるコース・デザイン』凡人社

* 迫田久美子 (2002) 『日本語教育に生かす第2言語習得研究』アルク